

## 社会資本総合整備計画評価審議資料【下水道課】

### ○計画の名称

#### ⑧「木曾川右岸流域における水循環のみちの実現（重点計画）」

- ・説明資料（パワーポイント） . . . p1～6
- ・社会資本総合整備計画事後評価書 . . . p7～10



# 事後評価 社会資本総合整備計画

木曾川右岸流域における水循環のみちの実現(重点計画)

都市建築部 下水道課

1

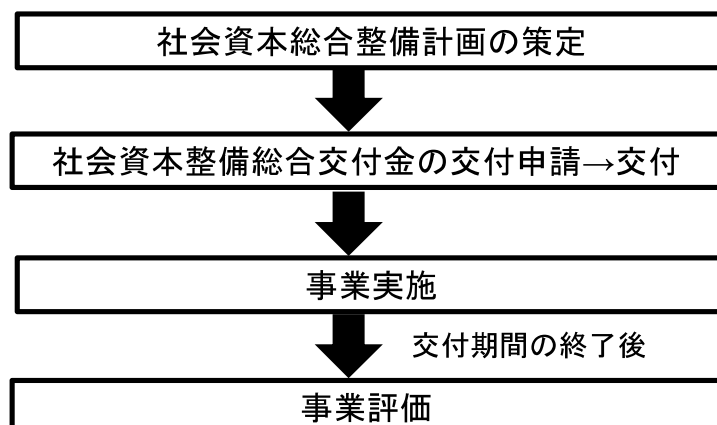
## 社会資本整備総合交付金

概要

○社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。

○活力創出、水の安全・安心、市街地整備、地域住宅支援といった政策目標を実現するため、地方公共団体が作成した社会資本総合整備計画に基づき、目標実現のための基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備等を総合的・一体的に支援。

## 社会資本総合整備計画の事業評価について



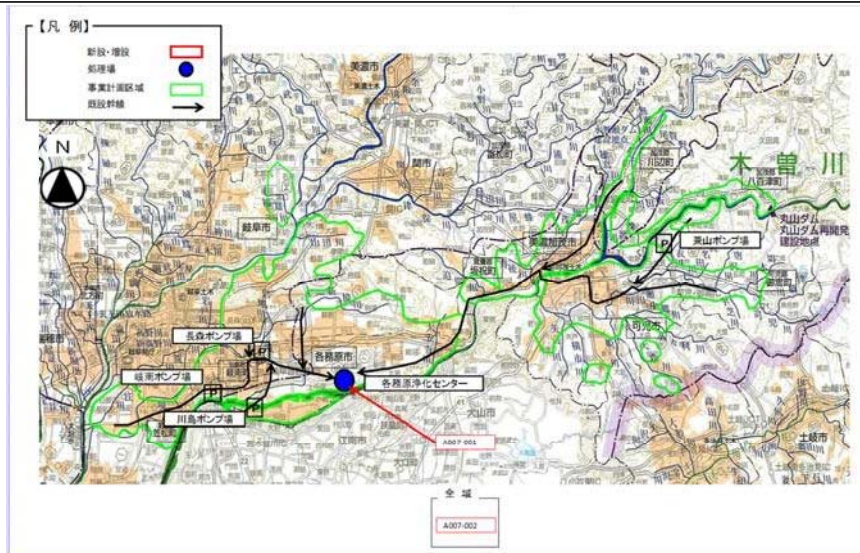
# 岐阜県木曽川右岸流域下水道事業

## ◆概要

- ・木曽川及び長良川の流域にまたがる4市6町の汚水を幹線管渠により各務原浄化センターに集め、一括処理する事業

### 木曽川右岸処理区（4市6町）

（岐阜市、美濃加茂市、各務原市、可児市、岐南町、笠松町、坂祝町、川辺町、八百津町、御嵩町）  
全体計画処理区域：16,643ha 整備済み区域：11,926ha



3

## 評価の対象となる社会資本総合整備計画の概要

### 1. 計画概要（計画名・計画期間・目標）

#### <計画名>

木曽川右岸流域における水循環のみちの実現（重点計画）

#### <計画期間>

平成30年度～令和2年度（3年間）

#### <計画の目標>

下水道施設の増設を行い、水の安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

### 2. 事業箇所

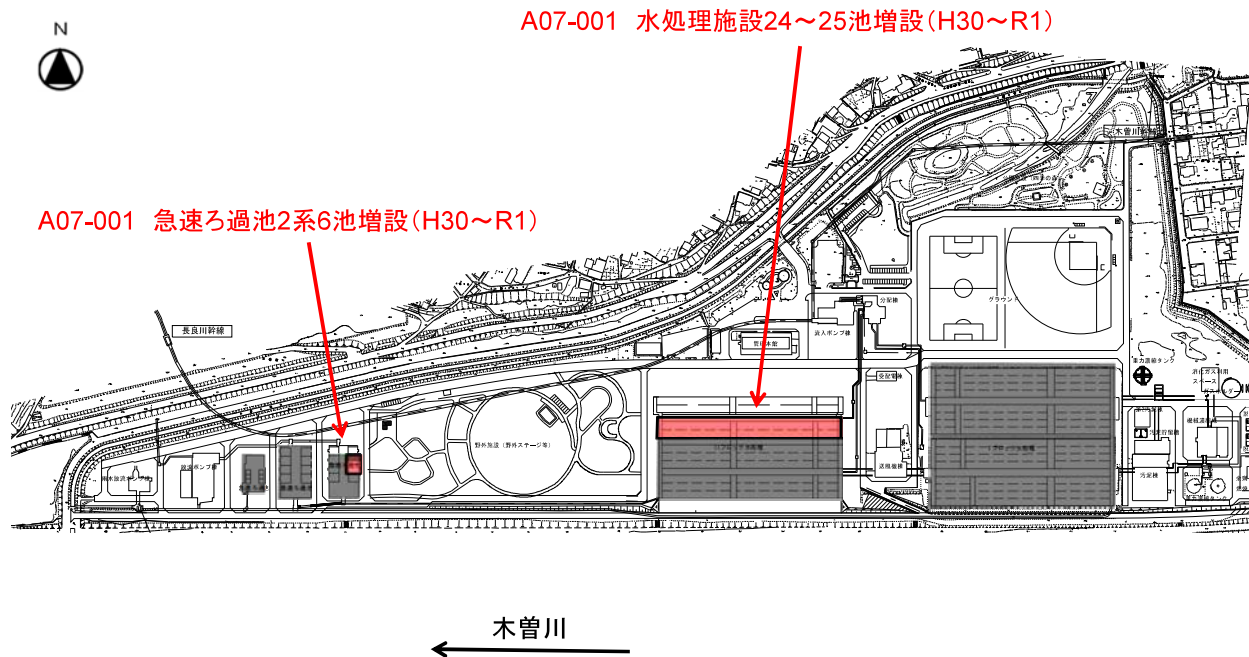
基幹事業  
岐阜県

### 3. 目標を定量化する主な指標

- ①処理施設増設により、処理能力を90%（H30）から94%（R2）に増加させる。  
処理場施設増設による処理能力  
水処理施設処理能力（m<sup>3</sup>/日最大）／全体計画水処理施設処理能力（m<sup>3</sup>/日最大）

4

# 各務原浄化センター場内の概要(主な実施箇所)

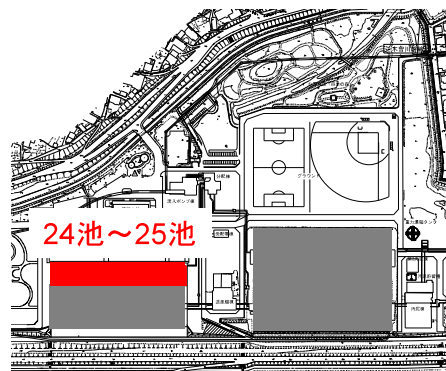


# 事業実施内容A07-001(水処理施設24~25池増設)

- 事業箇所: 岐阜県各務原浄化センター
- 整備内容: 水処理施設の設備増設

・流入汚水量の増加に対応するために、水処理施設の設備を増設し、汚水を適切に処理。

## 24池~25池反応タンク攪拌機の増設



施工前

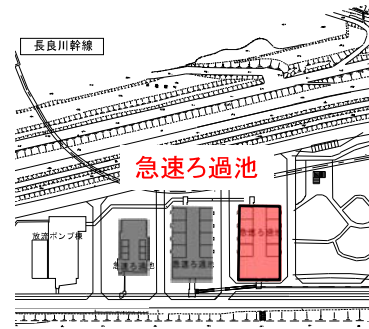


施工後

# 事業実施内容A07-001 急速ろ過池2系6池増設

- 事業箇所: 岐阜県各務原浄化センター
- 整備内容: 急速ろ過池の設備増設

・流入汚水量の増加に対応するために、急速ろ過池の設備を増設し、汚水を適切に処理。



## 急速ろ過池の機械電気設備の増設



施工前



施工後

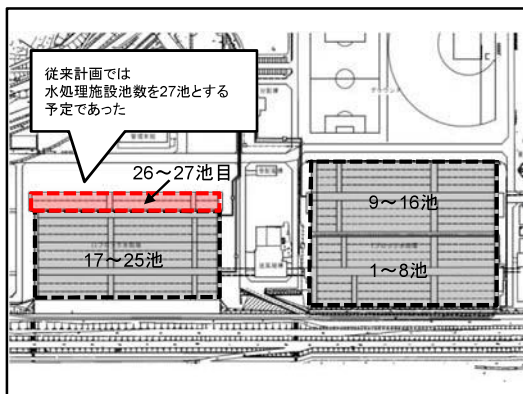
# 事業実施内容A07-002 効率的な事業実施のための検討

- 事業箇所: 岐阜県各務原浄化センター
- 整備内容: 全体計画変更等

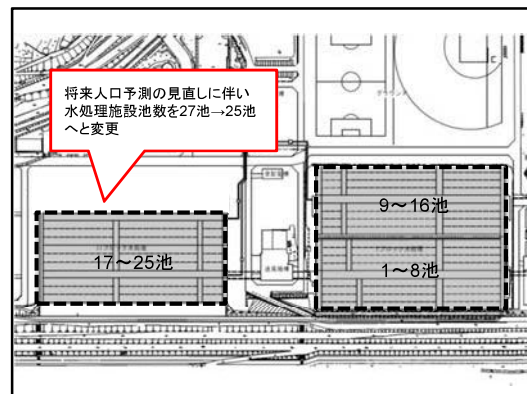
・人口減少など社会状況の変化を踏まえた全体計画の見直しを平成30年度から令和2年度にかけて実施

全体計画（令和2年度変更）

| 項目              | 変更前                               | 変更後                               |
|-----------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 計画目標年次          | 令和7年度                             | 令和17年度                            |
| 計画処理人口          | 466,200人                          | 433,900人                          |
| 計画日最大汚水量        | 241,815m <sup>3</sup> /日          | 222,640m <sup>3</sup> /日          |
| 処理能力<br>(水処理池数) | 242,000m <sup>3</sup> /日<br>(27池) | 228,000m <sup>3</sup> /日<br>(25池) |



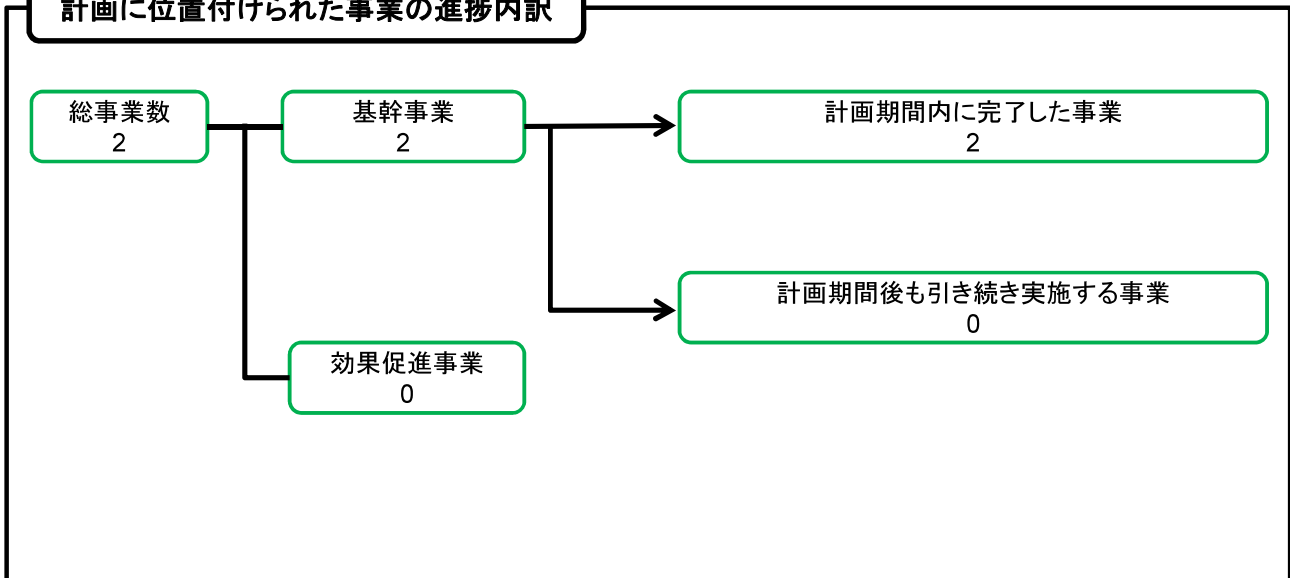
変更前



変更後

## 事業の進捗状況

### 計画に位置付けられた事業の進捗内訳



9

## 計画の成果目標の達成状況

- ・水処理施設24池、25池を増設したことにより目標を達成できた。  
なお、将来人口等の見直しにより、水処理施設26池、27池が不要となったため、結果的に100%となった。

| 指標             | 単位 | 定義  | 目標と指標及び目標値の関連性                             | 従前値 |      | 目標値 |      | 結果   |    | 適用 |
|----------------|----|---|--|-----|------|-----|------|------|----|----|
|                |    |   |  |     | 基準年度 |     | 目標年度 |      | 年度 |    |
| ①処理施設増設による処理能力 | %  | 水処理施設処理能力(m <sup>3</sup> /日最大)／全体計画水処理施設処理能力(m <sup>3</sup> /日最大) | 下水道施設の増設を行い、水の安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 | 90% | H30  | 94% | R2   | 100% | R2 | 達成 |



## まとめ

### ◆効果の発現状況

#### 【定量的指標に関する効果の発現状況】

- ・流域関連市町の下水道整備に合わせ24池、25池の増設を行ったことにより、流入汚水量に合わせて適切に処理を行うことができ、概ね水の安全・安心、快適な暮らしを実現し良好な環境を創造することができるため、事業効果は発現されたと考える。

### ◆今後の方針

- ・将来にわたり下水道の持続的・安定的なサービスを提供できるように、計画的に施設の更新を行い、安全・安心な県土づくりに努めていく。



社会資本総合整備計画 事後評価書

|  |             |       |   |   |   |                       |  |  |           |   |
|--|-------------|-------|---|---|---|-----------------------|--|--|-----------|---|
| 計画の名称 木曽川右岸流域における水循環のみの実現(重点計画)                  |             |       |   |   |   |                       |  |  |           |   |
| 計画の期間 平成30年度 ～ 平成32年度 (3年間)                      |             |       |   |   |   |                       |  |  |           |   |
| 交付対象 岐阜県   |             |       |   |   |   |                       |  |  |           |   |
| 計画の目標 下水道施設の増設を行い、水の安全・安心、快適な暮らしを實現し、良好な環境を創造する。 |             |       |   |   |   |                       |  |  |           |   |
| 全体事業費(百万円)                                       | 合計(A+B+C+D) | A     | B | C | D | 効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D) |  |  | 重点配分対象の該当 | 〇 |
|  |             | 1,867 |   | 0 | 0 | 0                     |  |  |           | 0 |

| 番号  | 定量的指標の定義及び算定式  | 計画の成果目標 (定量的指標) |          |       |      |       |      |       |   |   |
|-----|--|-----------------|----------|-------|------|-------|------|-------|---|---|
|     |  | 定量的指標の現況値及び目標値  |          | 当初現況値 |      | 中間目標値 |      | 最終目標値 |   |   |
|     |  |                 |          | H30当初 | H31末 | H31末  | H32末 |       |   |   |
| 1   | ①処理施設増設により、処理能力を90% (H30) から94% (H32) に増加させる。<br>①処理施設増設による処理能力<br>水処理施設処理能力 (m3/日最大) / 全体計画水処理施設処理能力 (m3/日最大) |                 | 90%      | 94%   | 94%  | 94%   | 94%  |       |   |   |
|     |  |                 |          |       |      |       |      |       |   |   |
|     |  |                 |          |       |      |       |      |       |   |   |
|     |  |                 |          |       |      |       |      |       |   |   |
|     |  |                 |          |       |      |       |      |       |   |   |
|     |  |                 |          |       |      |       |      |       |   |   |
|     |  |                 |          |       |      |       |      |       |   |   |
|     |  |                 |          |       |      |       |      |       |   |   |
| 備考等 |  | 個別施設計画を含む       | 国土強靱化を含む | —     | —    | —     | —    | —     | — | — |
|     |  | —               | —        | —     | —    | —     | —    | —     | — | — |
|     |  | —               | —        | —     | —    | —     | —    | —     | — | — |
|     |  | —               | —        | —     | —    | —     | —    | —     | — | — |
|     |  | —               | —        | —     | —    | —     | —    | —     | — | — |
|     |  | —               | —        | —     | —    | —     | —    | —     | — | — |



事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

岐阜県事業評価監視委員会に意見を聴取

事後評価の実施時期

令和4年2月7日

公表の方法

岐阜県ホームページにて公表予定

○事業効果の発現状況

最新の人口、流入汚水量等の推計をもとに令和2年度末に全体計画を見直し、水処理施設の増設は25池までで将来の流入汚水量に対応できる見込みとなった。本整備期間において水処理施設25池等を増設したことにより目標値を達成することができ、きれいな水と健康で快適な暮らしの確保に資することができ、事業効果は発現されたと考える。

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

将来にわたり下水道の持続的・安定的なサービスを提供できるように、計画的に施設の更新を行い、安全・安心な県土づくりに努めていく。

| ○目標値の達成状況 |                        |  |
|-----------|------------------------|--|
| 番号        | 指標 (略称)                | 目標値と実績値に差が出た要因   |
| 1         | 処理施設増設による処理能力<br>最終目標値 | 最新の人口、流入汚水量等の推計をもとに令和2年度末に全体計画を見直し、水処理施設の増設は整備した25池までで将来の流入汚水量に対応できる見込みとなったため。 |
|           | 最終実績値                  |  |
|           |                        |  |
|           |                        |  |
|           |                        |  |
|           |                        |  |
|           |                        |  |